

(◎は委員長、○は副委員長)

議会運営委員会 (定数13人)

議事日程や議案、意見書、請願、陳情などの取り扱いなど、議会の運営に関することを協議します。

- ◎川村 博章 ○佐々木久昭
- 麻生 紀雄 山本 直史
- 酒井 伸二 松坂 吉則
- 小松崎文嘉 段木 和彦
- 近藤千鶴子 中村 公江
- 森 茂樹 米持 克彦
- 野本 信正

特別委員会

大都市制度・防災危機対策調査 特別委員会(定数13人)

大都市の実態に対応した行財政制度の確立及び地方分権の推進に関する事項や、防災・危機対策に関する諸問題について調査します。

- ◎茂手木直忠 ○亀井 琢磨 伊藤 康平
- 植草 毅 田畑 直子 麻生 紀雄
- 松坂 吉則 小松崎文嘉 佐々木友樹
- 佐々木久昭 川岸 俊洋 森 茂樹
- 福永 洋

少子高齢社会問題調査 特別委員会(定数13人)

少子高齢社会の進展に伴う虐待や孤独死などの諸問題と対応策、生活保護などの社会保障のあり方について調査します。

- ◎白鳥 誠 ○岩井 雅夫 蛭田 浩文
- 小田 求 村尾伊佐夫 段木 和彦
- 盛田 眞弓 黒宮 昇 川村 博章
- 中島 賢治 三須 和夫 中村 公江
- 米持 克彦

新庁舎整備調査 特別委員会(定数13人)

市庁舎に求められる機能とあり方や、庁舎と敷地の一体的な有効活用等について調査します。

- ◎市原 弘 ○森山 和博 川合 隆史
- 安喰 武夫 小田 求 山本 直史
- 酒井 伸二 秋葉 忠雄 向後 保雄
- 石井 茂隆 三瓶 輝枝 石橋 毅
- 野本 信正

各種委員

- 監査委員…小川 智之 川岸 俊洋
- 農業委員会委員…黒宮 昇 石橋 毅
布施 貴良 野本 信正

永年勤続議員表彰

永年にわたり市政の振興に努められた功績により、全国市議会議長会から5人の議員が表彰され、6月6日、本会議場において表彰状が伝達されました。

在職40年以上特別表彰

穴倉 清藏

在職25年以上特別表彰

米持 克彦

在職15年以上一般表彰

中村 公江 中島 賢治 小川 智之

感謝状の伝達

全国市議会議長会から宇留間又衛門議長、小川智之議員(前議長)に感謝状が授与され、6月6日、本会議場において伝達されました。

常任委員会審査から

議案や請願は、所管の常任委員会で、細部にわたり審査しました。主な質疑をご紹介します。

総務委員会(議案5件)

マイナンバー制度に対応するシステム整備費は

問 この制度は、市町村の事務として実施しなければならないが、全国的な制度なので、国がある程度、責任を持って費用を負担すべきではないのか。

答 これまで様々な形で国に負担を求めてきた結果、昨年末に、市町村の調達項目とされていたハードウェアについて、国が一括して整備することとなった。今後も国に費用負担を要望していきたい。

保健消防委員会(議案5件 請願1件)

イベント会場等での火災予防の徹底を

問 条例改正により、平成26年8月1日から花火大会など、多くの人が集まるイベント等において、発電機や調理器具などの火気器具等を使用する場合は、消火器の準備や消防署長への露店等開設の届出が義務づけられるが、罰則がない中、どのように徹底させていくのか。

答 届出時に事前指導を徹底するとともに、できる限り消防隊が現地に出席して、指導していきたい。



開設の届出が義務付けられる露店

環境経済委員会(議案4件 発議1件)

京葉銀行文化プラザ スパ&フィットネス施設の廃止は

問 同施設は赤字が続く、事業継続には熱源施設等の更新に多額の費用を要するということが、廃止について、事前に利用者から意見を聞いたのか。

答 現在、施設に平成26年度末をもって、スパ&フィットネスを廃止する議案を提出しているお知らせを掲示している。継続の要望はあるが、今後も会員制の同施設の維持に税金を使うことは、利用者以外の市民からの理解を得難いと考え、廃止と判断した。議決後、経緯を含めて丁寧に説明していきたい。

教育未来委員会(議案2件 請願1件)

磯辺中学校大規模改造工事の 契約金額変更は

問 インフレスライド^{*}の適用により、当該工事の契約金額が、当初の契約金額から増額されるが、インフレスライドの原因と工期への影響は。

答 労務単価の上昇が主な原因であり、工期の変更はない。

^{*}インフレスライド：予期することのできない特別の事情により、工期内に、日本国内において急激なインフレーションを生じ、請負金額が著しく不適当となったときに請負金額の変更を請求できる措置。

都市建設委員会(議案4件)

ちばリサーチパークによる 市内雇用の拡大は

問 地区計画の決定により、若葉区と佐倉市の市境にある「ちばリサーチパーク」に、研究所や製造施設などの立地が進むことで、雇用拡大が見込まれるが、千葉市民の雇用拡大についての目標は。

答 千葉市側に立地する企業は、概ね企業立地補助制度の対象となる。この制度を利用する企業には、可能な限り市内雇用に努めるよう要望しており、多くの市民の雇用を期待している。

平成26年第2回定例会 可決した主な議案

補正予算：一般会計に6億5,400万円を追加

補正予算の主なものは次のとおりです。

- 大雪で被災した農業者への施設復旧等にかかる経費の助成 3億5,050万円
- 最終処分場水処理施設における放射性物質除去 1億9,000万円
- 社会保障・税番号制度(マイナンバー)対応システムを整備 1,464万円
- ふるさとハローワークを緑区に増設 240万円

議員定数を4人削減

千葉市議会の議員定数を54人から50人に削減します。また、各選挙区選出議員数は、中央区、花見川区、稲毛区及び若葉区で1人ずつ削減し、表のとおりとなります。(平成27年4月の市議会議員選挙から施行)

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
議員定数	10人	10人	8人	8人	6人	8人

軽自動車税の税率引き上げ

自動車税との税負担の差を是正するなどの目的で、軽自動車税の標準税率を引き上げます。

- 四輪車等の税率を、自家用乗用車は1.5倍に、その他の区分の車両は約1.25倍に引き上げ(平成27年4月1日以降新規取得分から適用)
- 二輪車等の税率を約1.5倍(最低2,000円)に引き上げ(平成27年度分から適用)

副市長の選任

副市長に、鈴木達也氏を選任することに同意しました。

※各会派の賛否状況は4面